

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 12 日(2024.12.12)

【公開番号】特開 2023-85165(P2023-85165A)
【公開日】令和 5 年 6 月 20 日(2023.6.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-114
【出願番号】特願 2022-41722(P2022-41722)
【国際特許分類】

A 6 3 H 3/46(2006.01)

10

A 6 3 H 3/36(2006.01)

【F I】

A 6 3 H 3/46 Z

A 6 3 H 3/36 D

A 6 3 H 3/36 G

A 6 3 H 3/46 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 3 日(2024.12.3)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

模型部品であって、

第 1 の部材と、

前記第 1 の部材を収容して第 1 の方向に回動可能に保持すると共に、前記第 1 の部材を引き出し可能に構成された第 2 の部材と、

30

前記第 1 の部材と、前記第 1 の方向とは異なる第 2 の方向に回動可能に接続される第 3 の部材と

を含み、

第 3 の部材の回動範囲は、前記第 1 の部材が前記第 2 の部材から引き出された場合に拡大される、模型部品。

【請求項 2】

前記第 1 の部材の前記第 1 の方向により定義される第 1 の回動面は、前記第 3 の部材の前記第 2 の方向により定義される第 2 の回動面と直交する、請求項 1 に記載の模型部品。

【請求項 3】

前記第 1 の部材の引き出し方向は、前記第 1 の回動面の法線方向である、請求項 2 に記載の模型部品。

40

【請求項 4】

前記第 3 の部材は、前記第 1 の部材が有する軸部と接続され、前記軸部回りに回動可能に構成されている、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の模型部品。

【請求項 5】

前記第 1 の部材は表面に第 1 の段差を有し、

前記第 2 の部材は前記第 1 の部材を収容する開口部の内壁に第 2 の段差を有し、

前記第 1 の部材は、前記第 1 の段差が前記第 2 の段差と係合する位置まで引き出し可能に構成されている、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の模型部品。

【請求項 6】

50

前記第 1 の部材と前記第 3 の部材との接続部分の少なくとも一部は、前記第 1 の部材の前記引き出しにより前記第 2 の部材の外側に露出される、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の模型部品。

【請求項 7】

人形玩具の関節部を構成する請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の模型部品。

【請求項 8】

前記関節部は、肩関節部である、請求項 7 に記載の模型部品。

【請求項 9】

前記第 3 の部材は、前記人形玩具の腕部材と接続するための接続部を含む、請求項 8 に記載の模型部品。

10

【請求項 10】

請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の模型部品を有する人形玩具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、模型部品であって、第 1 の部材と、前記第 1 の部材を収容して回転可能に保持すると共に、前記第 1 の部材を引き出し可能に構成された第 2 の部材と、前記第 1 の部材が有する軸部と接続し、前記軸部回りに回転可能に構成される第 3 の部材とを含み、前記第 1 の部材の前記第 2 の部材に対する回転方向により定義される第 1 の回転面は、前記第 3 の部材の前記第 1 の部材に対する回転方向により定義される第 2 の回転面と直交し、第 3 の部材の回転範囲は、前記第 1 の部材が前記第 2 の部材から引き出された場合に拡大される。

20

本発明はまた、模型部品であって、第 1 の部材と、前記第 1 の部材を収容して第 1 の方向に回転可能に保持すると共に、前記第 1 の部材を引き出し可能に構成された第 2 の部材と、前記第 1 の部材と、前記第 1 の方向とは異なる第 2 の方向に回転可能に接続される第 3 の部材とを含み、第 3 の部材の回転範囲は、前記第 1 の部材が前記第 2 の部材から引き出された場合に拡大される。

30

40

50